薄枠ドアとの調和でノイズレスな空間を演出

HES1F-140

［薄枠専用丁番］

1

2

3

❶無駄を省いたミニマルデザインによって、室内空間がより洗練されたものに。丁番は２つで40kgまでの重さのドアを吊れる強度があるほか、30万回の開閉テストをクリアした耐久性も備える。❷従来は、ドア枠を薄型にするだけでは丁番が「ノイズ」として目立っていたが、ドア枠と丁番を一体化することでこの問題を解消。❸ドアと枠との隙間が小さいため、子どもがいる家庭でも安心して使用できる。ヒンジは上下・左右・前後の三次元調整機能付。

近年の建築業界では、ミニマルやノイズレスといった考えに基づくシンプルなデザインがトレンドだ。室内空間における重要な要素であるドアも、なるべくノイズをなくしスッキリ見せたい希望は多い。しかしその構造上、枠を薄くしてデザイン性を高めると相対的に丁番が目立ち、逆に丁番を隠そうとすると枠が太くなるというジレンマがあった。

薄枠専用丁番「HES1F-140」は、この問題を解決する画期的な製品だ。開発したのは建築金物や家具金物を扱うスガツネ工業。これまでも隠し丁番をはじめさまざまな金物を開発してきたが、丁番を隠しつつ薄枠に対応させるためには大胆な発想の転換が必要だったという。最大のポイントは、丁番を隠すのではなく、むしろ薄枠の一部に組み込んでしまったことだ。長年培われた独自技術で調整機構をドア側に集約したことで、枠側を幅8㎜までスリム化。薄枠と一体になったノイズレスなデザインを実現した。さらにこの構造ではドアと枠の隙間がほとんどないため、子どもが指を挟む事故を予防できる利点もある。スタイリッシュな意匠と安全さを高度に両立したことで、2022年度グッドデザイン賞のベスト100に選出されたほか、第16回キッズデザイン賞の奨励賞にも輝くなど、専門家からも高く評価されている。

HES1F-140の登場で、ドアのデザインは一段高いレベルに引き上げられた感がある。今後、国内だけでなく海外でも間違いなく注目されるはずだ。

問い合わせ　スガツネ工業株式会社　TEL.03-3864-1122　www.sugatsune.co.jp　（資料請求番号 0001）

隔月刊コンフォルト　インテリアの心地よさをつくる

2023年2月1日発行（偶数月1日発行）

特集　森と建築

CONFORT

No. 189
2023 February

特集

森と建築

Architecture Follows the Forest

木の生命力　新発田屋
木と酒を味わう　木島徹／佐野文彦
飛騨の森でクマは踊る　森と人の新しい物語
大規模木造建築と森林保全　諏訪幹雄
大規模木造建築のいま　安齋好太郎／遠野未来
工藤桃子と巡る多摩産材の森　秋川木材協同組合
It all began in woods　NIKARI／Kari Virtanen

木を余すことなく使う　建材・プロダクト